

我孫子市環境レンジャー通信
No71
(平成30年4月発行)

たまっけ

(発行)
我孫子市環境レンジャー
(連絡先)
我孫子市手賀沼課
04-7185-1484(直通)

「たまっけ」とは昭和35（1960）年頃まで手賀沼でもたくさん棲^すんでいたカラスガイのことです。今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民といっしょに考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、いっしょに美しい我孫子を守り育てましょう。

手賀沼周辺の特定外来種（7）

新たな脅威！特定外来植物オオバナミズキンバイ

（環境レンジャー 間野 吉幸）

手賀沼に新たな特定外来植物『オオバナミズキンバイ』が2017年6月10日に「美しい手賀沼を愛する市民の連合会」（美手連）の会員によって初めて見つかった。

環境省の資料によると、オオバナミズキンバイは南米、北米南部原産のアカバナ科チョウジタデ属の植物（学名 *Ludwigia grandiflora*）で兵庫県加古川市の溜池で初めて確認（2007年8月）された。2009年12月には琵琶湖で確認され、その後爆発的に繁茂した。滋賀県は現在その駆除に取り組んでいる。

手賀沼の水生植物の35%は外来植物！

「手賀沼水環境保全協議会」（手水協）の資料によると、手賀沼本体の水生植物は約800,000㎡、8種類が報告（2017年7月調査）されている。手賀沼の在来3種（ヨシ、ヒメガマ、マコモ）は約524,000㎡で全体の65%で、ハス約233,000㎡（29%）、ナガエツルノゲイトウ約40,000㎡（5%）、オオバナミズキンバイ約3,000㎡（0.4%）などに因って生息範囲が狭められている。

ハスの大繁茂も大問題ではあるが、今後治水・農業などに被害が懸念されるオオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの早期の駆除が喫緊の要事である。

オオバナミズキンバイは繁殖力が強く茎の切れ端からも根をだすとともに自身でも実をつけ繁殖する。環境省によると生育が早く水上と水中にマット状に厚く繁茂し他の植物の生育を阻害し駆逐してしまう。琵琶湖南岸の赤野井湾地区では2009年12月に約142㎡の育成が観察され、2012年12月には約22,435㎡と3年間で約160倍の面積に分布を拡大し、南湖のほぼ全域にまで広がった。

手賀沼では手水協調査によると2017年7月時点で、手賀大橋より上流部で26ヶ所2,832㎡の繁茂が確認された。図2の写真は、ナガエツルノゲイトウの群落の先端部分が、とりついたオオバナミズキンバイ（手前）により侵蝕され置き換わってしまった写真である。

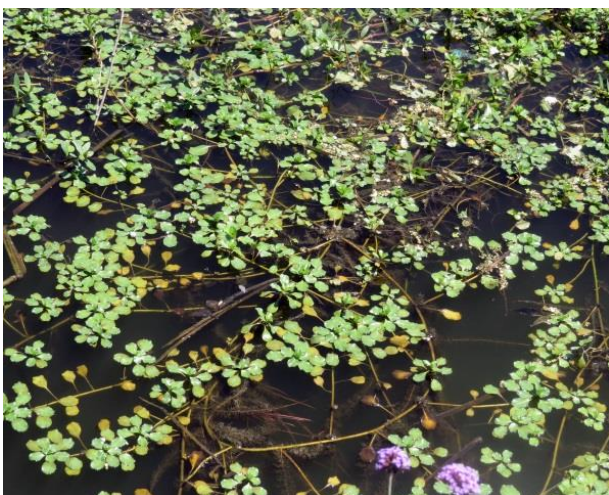


図1.手賀沼で初めて見つかった
オオバナミズキンバイ
(2017.6.10 撮影 美手連)



図2.ナガエツルノゲイトウを侵食する
オオバナミズキンバイ
(2017.9.6 撮影)

- オオバナミズキンバイはナガエツルノゲイトウより成長が早く、次のような被害が懸念される。
- ・マット状に厚く繁茂するため植物の生育を阻害。水田に入ると稲の生育に影響を及ぼす可能性がある。
 - ・水中の密生した茎は蚊の生息場所となり、堆積物が溜まり、水の流れを阻害する。
 - ・水上に繁茂することで水鳥の採餌場所である開放水面が狭くなる。
 - ・船の航行障害や漁具の破損障害。手賀沼でナガエツルノゲイトウでボートの乗入りが出来ない被害。
 - ・治水問題。2017年10月には、ナガエツルノゲイトウが手賀沼排水機場に流れ着き実害が発生した。

手賀沼のオオバナミズキンバイ対策は待ったなし！

オオバナミズキンバイ被害の先進県である滋賀県ではここ数年、駆除に予算を計上し、2017年度は3億円超の事業費を組んで取り組んでいる。一方、手賀沼では特定外来生物の駆除は今の所大きく進んでいない。行政と事業者と市民（美手連）が一緒になって駆除の実験活動や啓発活動を行っているが本格的活動にはなっていない。

オオバナミズキンバイが確認されたことは待ったなしの緊急事態である。このまま放置すると手賀沼はオオバナミズキンバイに席卷され、後に多額の費用が発生する恐れがある。滋賀県の先進事例を参考に駆除のための手賀沼モデルを考える必要がある。待ったなしの状態であり、出来るだけ早く手を打たなければならない。

参考資料：

環境省 特定外来生物の解説、朝日新聞 2017.11.7 千葉版、
手水協 手賀沼及び下手賀沼・手賀川における植生・水質調査結果

手賀沼周辺の特特定外来種（8）

ナガエツルノゲイトウの駆除報告

（環境レンジャー 荻野 茂）

12月3日、無風の冬晴れのもとで第27回手賀沼ふれあい清掃が実施されました。今回のふれあい清掃では近年益々増えつづけるナガエツルノゲイトウを駆除するプログラムが追加され、ボーイスカウト（我孫子第1・2団）に協力要請があり、スカウトと指導者、保護者の約100人が参加しました。

駆除用具として、竹べら、軍手、ポリ袋1式を手渡されたスカウト達は、整備された手賀沼公園ふれあい護岸を見渡して駆除すべきナガエツルノゲイトウってどこにいるの？という戸惑う様子に、手賀沼課職員の方が、護岸の石と石の間を竹べらで引掻くとナガエツルノゲイトウ独特の紫色の茎が姿を現しました。この茎をちぎらず根っこまで引き抜く様子を見て、要領も解り興味深々となりました。



手賀沼公園ふれあい護岸にて



寒い中、本当にご苦労様です



たくさん採れたね！

従来のふれあい清掃は、手賀沼湖畔沿いを空き缶、空きビン、紙くず、プラスチック等のゴミを分別収集しましたが、近隣住民のこまめな清掃でゴミが少なく、遊歩道と水辺との間に捨てられている状態で見つけるのが大変でした。

ボーイスカウト我孫子第1団、第2団の執念！？

ところがナガエツルノゲイトウの駆除は、竹べらを使ってこの厄介者を根こそぎ駆除しようという執念がスカウト達には楽しさになったように感じられる作業風景で、約1時間15分の作業で10袋もの駆除ができました。この後、ふれあい護岸東側のヨシが生育している中を割って群生しているナガエツルノゲイトウを観察し、今回の駆除作業の大切さを再認識したスカウト達でした。

環境レンジャー活動報告（環境学習）

紙飛行機工作と飛行大会

（環境レンジャー 荻野 茂）

2月18日(日)アビスタ1階ホールで恒例となりましたチラシを再利用して作る「紙飛行機工作と飛行大会」を開催しました。事前申込は37人でしたが、インフルエンザ等で欠席があり小学低学年から幼稚園の子ども14人と、保護者を含めた大人15人の総勢29人の参加となりました。また、参加者の中には、お孫さんに教えたくて参加した熱心な男性もいらっしゃいました。

受付開始の13時から参加者が集まり始めましたが、子ども達はホールで飛び回り遊ぶこともなく折り方の手順ボードを見ながら作業テーブルで保護者と折り紙解説書を参考に折り始める様子に参加の熱意が感じられます。

今回は6種類の紙飛行機、チラシで作る①すいすい飛行機、②すうーと飛ぶ飛行機、③ふわふわ飛行機、④滞空飛行機と、ケント紙で作る⑤曲芸飛行機と⑥ホッチキス・ペグの工作に取り組みます。講師の内山環境レンジャーは、折り方の手順解説ボードを使い、紙の表と裏と折り方のポイントなどを折り紙を高く掲げながら説明し、各テーブルに付いたスタッフの支援のもとで次々と紙飛行機を完成させました。1つの飛行機を作り終わると試し飛行でその出来ばえを実感。



折り方の手順ボードで解説する内山レンジャー



熱心に飛行機工作に取り組んでいる様子

あともう少しで完成！最後までがんばろう！（^）！

最後はホッチキスペグ飛行機の取り組みには、山折、谷折にかなり手こずりながら完成させ、機体の頭部下のフックに輪ゴムを引っかけて飛ばします。浮力を生じさせる主翼と尾翼を含め角度調整したペグ飛行機は、会場の端から約25m以上の滞空飛行ができました。子どものみならず保護者まで全員が熱中し、夢中になった2時間の飛行大会でした。



すうーと飛ぶ飛行機の試し飛行
やったー！（^）！



願いを乗せて飛んで行け！
ホッチキス・ペグでの飛行大会

環境レンジャーのこれからの予定（詳しくは「広報あびこ」を見てね！）

参加費は、すべて無料です。

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課（04-7185-1484（直通））まで

平成30年5月13日(日)

Enjoy手賀沼2018



時間：午前9時～午後3時
場所：手賀沼親水広場手賀沼課ブース

平成30年5月26日(土)

ネイチャーイン ～いろいろ八景を散策！自然にふれあう～



時間：午後9時～12時
場所：白山の街並みと船戸の森、湧き水の小径

平成30年7月25日(水)

環境学習 船上学習 ～遊覧船に乗って手賀沼の観察しよう～



時間：午前9時45分～11時45分
場所：手賀沼公園小池ボート乗り場前

平成30年7月28日(土)

ネイチャーイン ～谷津ミュージアムでのホタル鑑賞～



時間：午後7時～8時30分
場所：谷津ミュージアム

平成30年8月16日&8月23日(木)

環境学習 ～紙粘土で花びんを作ろう～



時間：午前9時30分～11時30分
場所：アビスタ工芸工作室

平成30年9月30日(日)

ネイチャーイン ～手賀沼水辺探検魚を獲って観察しよう～



時間：午後1時～2時30分
場所：手賀沼フィッシングセンター周辺



《編集後記》

動物、植物、生き物たちが元気になる春になりました。
環境レンジャーも、また今年1年、元気にいろいろイベントを行います。
ネイチャーインでの自然とのふれあい、工夫を凝らした環境学習をお楽しみに！
『たまっけ』へのご意見、ご感想お待ちしております。

（環境レンジャー 継岡 伸彦）